

令和6年第2回可児市議会定例会 一般質問通告一覧表 6月13日(14日・17日)

No.	質問者	質問項目 (答弁者)
1	松尾 和樹 (白い会派)	<p>1. 持続可能な市政運営のための人事は行われているか (市政企画部長)</p> <p><b>一括答弁方式</b></p> <p>少子高齢化により人口減少が進む現代社会において、人材確保は重要な課題である。持続可能な市政運営のための、採用や、スキルアップ研修の充実化、職員の働き方改革などは適切に行われているか。</p> <p>質問1 令和5年度採用の現状、課題と今後の対応策は。</p> <p>質問2 職員のスキルアップのための研修などは計画的に行われているか。</p> <p>質問3 離職率、離職理由などの傾向分析と、今後の課題、対応策は。</p> <p>質問4 時間外勤務削減など職員の働き方改革にはどのように取り組んでいるか。</p> <p>質問5 開庁時間を職員の勤務時間内に収めるように変更する考えについて、本市の見解は。</p>
2	田上 元一	<p>1. 歩行者目線での市道のあり方について (建設部長)</p> <p><b>一問一答方式</b></p> <p>道路には人や地域を繋ぐ交通機能と地域やまちを創る空間機能があると言われていてます。市民にとって最も身近な市道に関して、歩行者目線でのあり方について市の見解をお伺いします。</p> <p>質問1 市道の総延長は。そのうち歩道のある市道、ない市道の延長は。</p> <p>質問2 路側帯の表示はどのような基準で引いているか。</p> <p>質問3 路側帯の表示が消えている実態を市は把握しているか。係る事案にどのように対応しているか。</p> <p>質問4 市道に関する情報収集をどのように行っているか。</p> <p>質問5 街路樹の根が張って歩道を痛めている実態を市は把握しているか。係る事案にどのように対応しているか。</p> <p>質問6 歩行者目線での今後の市道のあり方についての見解は。</p>

No.	質問者	質問項目 (答弁者)
3	富田 牧子 (日本共産党 可児市議団)	<p><b>1. こども・子育て支援の拡充を (市政企画部長、教育委員会事務局長)</b></p> <p><b>一問一答方式</b></p> <p>「人口戦略会議」が「消滅可能性自治体」のリストを公表。しかし、それは人口減少の責任を女性に転嫁する時代錯誤の考えだ。少子化解消には、国に先んじて子育て支援策を進める必要がある。</p> <p>質問1 今回の「消滅可能性自治体」論についてどのような感想を持っているか。</p> <p>質問2 保護者の学校給食費負担軽減について考えているか。</p> <p><b>2. 可児市の児童生徒の健康状態は (教育委員会事務局長)</b></p> <p><b>一問一答方式</b></p> <p>毎年、6月30日までに児童生徒の健康診断が実施される。本市の児童生徒の健康状態はどうか。また、子どもの視力低下はどうか。不登校の子どもたちにも健康診断は実施されているか。</p> <p>質問1 本市の健康診断の実施状況は。</p> <p>質問2 本市の児童生徒の視力はどうか。近視を防ぐ対策はされているのか。</p> <p>質問3 不登校の子どもたちは何らかの方法で健康診断が受けられているのか。</p> <p><b>3. 認知症施策の推進を (福祉部長)</b></p> <p><b>一括答弁方式</b></p> <p>「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が本年1月1日から施行された。本市でも早期発見・早期治療に力を入れ、認知症を発症していても住み慣れた地域で安心して暮らせるようどのような施策を推進するか。</p> <p>質問1 本市の認知症施策推進計画はいつ策定されるのか。</p> <p>質問2 今後はどのような認知症施策を展開していくのか。</p>
4	田口 豊和	<p><b>1. 公共的施設のバリアフリーやユニバーサルデザインについて (市民文化部長、建設部長)</b></p> <p><b>一括答弁方式</b></p> <p>市障がい者計画にのっとった公共的施設のバリアフリーやユニバーサルデザインの導入など、これまでの実施状況や課題などについて問う。</p> <p>質問1 バリアフリーやユニバーサルデザインに関する市の考え方、基準は。</p> <p>質問2 地区センターにおけるバリアフリーやユニバーサルデザインの導入状況は。</p> <p>質問3 これまで整備してきたものの中で浮き彫りとなった課題は。また新設、改修時の意見聴取の仕方や課題、工夫できる点は。</p>

No.	質問者	質問項目 (答弁者)
5	天羽 良明 (可児未来)	<p><b>1. イノシシ等の鳥獣被害の現状と対策は (経済交流部長)</b></p> <p><b>一括答弁方式</b></p> <p>鳥獣被害から生命・財産を守るための啓発が必要と考える。また、本市のイノシシ等の被害について近隣自治体との情報共有や捕獲協力を進めるなどの広域連携を図る必要があると考えるが、市の考えは。</p> <p>質問1 本市の農業被害の実態はどうなっているか (イノシシ、ニホンカモシカ、ニホンジカ)。</p> <p>質問2 イノシシの人的被害が出ないように「広報かに」による注意喚起をすべきでは。</p> <p>質問3 電気柵設置後にその効果を維持するための対応策は。また修理に対する補助の拡充はできないか。</p> <p>質問4 ニホンカモシカの対策として電気柵以外の有効な対策の必要性をどう考えるか。</p> <p>質問5 市として罾設置に関し地主の承諾を得るためにどのような協力体制がとれるか。</p> <p>質問6 近隣自治体と情報共有や捕獲協力などの広域連携を図るべきと考えるがいかがか。</p> <p>質問7 市として鳥獣被害対策の担い手である猟友会会員の今後の育成にどう取り組むか。</p>
6	板津 博之 (会派きずな)	<p><b>1. 学校部活動の地域クラブ活動への移行について (教育長、市民文化部長)</b></p> <p><b>一問一答方式</b></p> <p>本市の学校部活動は、令和4年度から5年度の「試行実施期間」を経て、令和6年度より段階的に地域クラブ活動への移行をスタートし、令和8年度に完全移行を目指しているが、現在までの進捗状況について問う。</p> <p>質問1 学校部活動の活動時間及び指導体制は。</p> <p>質問2 地域クラブ活動の活動時間及び指導体制は。</p> <p>質問3 地域クラブ活動の費用負担はどうなっているか。</p> <p>質問4 現時点で単独型・合同型・オール型の内訳はどうなっているか。</p> <p>質問5 施設使用料の減免などの支援体制は。</p> <p>質問6 協働型推進体制の構築は出来ているか。</p> <p>質問7 部活動改革プランの周知は出来ているか。</p> <p>質問8 現状での課題や問題点は。</p>

No.	質問者	質問項目 (答弁者)
7	野呂 和久 (可児市議会 公明党)	<p><u>1. 重層的支援体制整備事業について (福祉部長)</u></p> <p><b>一括答弁方式</b></p> <p>令和2年6月に社会福祉法が改正され、重層的支援体制整備事業が創設された。これまでの福祉制度・政策と支援ニーズとの間にギャップがあるとの認識からである。重層的支援体制整備事業について本市の考え方を問う。</p> <p>質問1 重層的支援体制整備事業についての本市の見解は。</p> <p>質問2 重層的支援体制整備事業の調査・研究及び導入の考えはないか。</p>
8	山田 喜弘 (可児市議会 公明党)	<p><u>1. 離婚前後の父母等への支援について (こども健康部長)</u></p> <p><b>一問一答方式</b></p> <p>離婚前後の父母等に対する本市の支援の現状と課題は。また離婚時に関する知識や有益な情報を得られる講座(オンラインを含む)の開催の必要性や公正証書作成等の補助金制度の創設について問う。</p> <p>質問1 離婚前後の父母等に対する支援の現状と課題は。離婚届出時に養育費の取決めの重要性の周知等、サービス支援も含めた情報提供は。</p> <p>質問2 離婚時の知識普及のための講座(オンラインを含む)を開催してはどうか。</p> <p>質問3 養育費に関する公正証書等作成時の補助金制度を創設してはどうか。</p> <p><u>2. 子どもの健全育成のためのAIアプリ活用について (教育長)</u></p> <p><b>一問一答方式</b></p> <p>市立小中学校の児童生徒・保護者への情報モラル教育の取組み状況と、AIペアレンタルコントロールアプリ「コドマモ」の周知・啓発及び市配布の学習用タブレット端末への活用を問う。</p> <p>質問1 本市立小中学校の児童生徒のスマートフォン・学習用タブレット端末やSNS等の関連トラブルの件数やその傾向は。</p> <p>質問2 児童生徒及び保護者への情報モラル教育の取組み状況は。</p> <p>質問3 AIアプリ「コドマモ」を周知・啓発してはどうか。</p> <p>質問4 AIアプリ「コドマモ」を学習用タブレット端末に活用してはどうか。</p>

No.	質問者	質問項目 (答弁者)
9	高木 将延 (会派きずな)	<p><u>1. 子どもの体験の機会と広げる場の創出を (教育長、市政企画部長、市民文化部長)</u></p> <p><b>一問一答方式</b></p> <p>子どもは自ら体験し、その体験を他人に伝え教えることで成長していくと言われている。本市の行っている事業の中でも子どもたちの体験機会や、その発表の場を増やしていくことはできないか。</p> <p>質問1 可児っ子海外交流訪問団の今年度のスケジュール等について。  質問2 可児っ子海外交流訪問団の帰国報告会の拡充について。  質問3 中日ドラゴンズとのパートナーシップ協定について。  質問4 学校との連携について。  質問5 地域との連携について。</p>
10	伊藤 健二 (日本共産党 可児市議団)	<p><u>1. 生活保護世帯のエアコン設置補助について (福祉部長)</u></p> <p><b>一問一答方式</b></p> <p>今年は一層の暑さが予報される。生活保護世帯や困窮世帯等への燃料費等の生活支援策、熱中症予防対策の一つであるエアコン設置・使用の推奨をどう図るのか問う。</p> <p>質問1 令和5年度の熱中症状況は如何か。  質問2 可児市の生活保護世帯における新たな「エアコンの導入設置」の実績は、いか程か。  質問3 生活保護世帯への設置費用の支給基準について、どうか。</p>

**この一覧表は、議員から提出された発言通告書の件名・要旨欄からそのまま掲載したものです。**